

● 北海道胆振地方中東部

【北海道胆振東部地震】

しっかりとした箱の中で、
守られている感じがした。

2

018年9月6日3時7分頃、北海道胆振地方中東部を震央として発生した地震。地震の規模はM6.7で、震源の深さは37km(ともに暫定値)。

道内では統計史上初となる震度7を厚真町で観測。その他震度6強を安平町・むかわ町で、震度6弱を札幌市東区・千歳市・日高町・平取町で観測。本震以来、震度1以上の地震は350回を超え、2019年2月には最大震度6弱の大きな地震もありました。

今回、北海道苫小牧市を本拠地とする大鎮キムラ建設様のご協力のもと、苫小牧市にお住まいのお施主様へ取材に伺ってきました。



リビングにてお施主様へインタビューする風景

千博産業: 苫小牧市は震度5強を観測しましたが地震の揺れはいかがでしたか？

お施主様: 地震発生時は真夜中でした。2階で寝ていたのですが、頑丈な箱の中にいる感覚で、不安感はありませんでした。

大きい地震かもしれないという気はしましたが、建物が揺れないし、音も特になかったので、まだ大丈夫と思いました。

ダンパーが地震の衝撃を吸収してくれているのかなと、頭の中で考えたりもしました。

千博産業: 奥様はいかがでしたか？ お子様は大丈夫でしたか？

奥様: 釧路に住んでいた時も今回と同じくらいの地震を経験したので、地震自体は怖くはなかったですね。子供もビックリしていたくらいで怖がってはいませんでした。

千博産業: 地震発生後、家の中の状況は？

お施主様: 揺れが納まってから下に降りたのですが、物が全然落ちていなかった。バランスの悪い、鳥の形のLEGOブロックが落ちていたのと、後は2階のゆるいタンスの引き出しが開いていたくらい。割れたものは一つもありませんでした。後日、住宅会社さんが見えたときも地震による建物の影響は見つからなかったですね。地震で建物に変形すると、壁紙がよれることがあるそうですがそういった壁紙のよれもありませんでした。ただ、近隣のお宅では食器棚が倒れたという話を聞きました。



地震の際、バランスの悪い鳥のブロックが落ちただけでした。



1階リビングにて

千博産業: 家を買う時に「耐震・制振」は重視されましたか？

お施主様: 北海道は地震がもともと少なかったこともあり、最初は「耐震+制振」までは考えていませんでした。ただ北海道は雪が多いですから、重さに耐えられるよう家の強度はしっかりさせたいと思って、調べていくうちにだんだん「耐震+制振」にも興味が広がっていききました。建築会社は何社か検討したのですが、重視したポイントである“断熱”“強さ”などのトータルバランスが良かったことが決め手となり、大鎮キムラ建設さんに依頼しました。

2019年2月にも最大震度6弱の大きな地震

千博産業: evoltz(製造:ビルシュタイン)についてはご存知でしたか？

お施主様: 正直、evoltzのことも、ビルシュタインも、あまり知らなかったですね。大鎮キムラ建設のご担当者さんの説明から、地震のエネルギーを吸収し建物の揺れを小さくするというものだとこのことを知り、evoltzについて理解を深めていきました。実際に住宅会社のショールームで、ダンパー(有り/無し)で揺れがどれくらい違うのか体験したときには、ここまで揺れを吸収してくれるのか！とビックリしました。だから、今回の地震の最中にもその装置で体験したevoltzの性能を思い出してイメージしたのかもしれませんが、マイホーム検討の際に個人的に在来工法や2×4などを調べました。その際に構造部材だけで持たせる家は長い目で見たときに大丈夫かな？一度の大きい地震に耐えるだけでなく、余震があるから複数回耐える強さが欲しいんじゃないか？という疑問を持ちました。複数回の地震が起きても住宅が安全であるためには、一番重要な構造を守るための物が必要だろうと考えていました。evoltzが果たす役割は、その考えに合致していたという事でしょうか。

マイホームを検討される方へ

千博産業: 住宅会社様がマイホームを検討されているお客様を対象にした見学会を開催する中で、S様宅も見学されることがあると伺っております。

これからマイホームを検討されている方から、どんなことを聞かれますか？

お施主様: やってあげれば良かったことはありますか？とよく聞かれます。「はっきり言って何もありませんよ、マイホームに大変満足しています」と答えているのですが、「耐震+制振」については、以前釧路に住んでいた時に震度6を経験しましたから釧路の方が地震のイメージがあったくらいで、家を建てる時には、ここが震源の地震が起るとは想定していませんでした。でも、地震は起きた。考え方は人それぞれですが、地震が来るたびに建物は揺すられますから、余震の事を考えると何回かの揺れに耐えるための「耐震+制振」をしておいた方が家が長持ちするので良いと思います。

動画をチェック！



「お客様の声」は
こちらから



ダンパー（有無）を体感できる起震機



今回、取材にご協力頂いたお施主様



左) 大鎮キムラ建設(株) ご担当者様 右) お施主様

Company information

大鎮キムラ建設株式会社 **DAISHIN KIMURA**
CONSTRUCTION

- 設立: 昭和53年10月
- 資本金: 2000万円
- 本社所在地: 〒053-0816 苫小牧市日吉町1丁目4-6
- 電話番号/FAX番号: TEL 0144-72-1146/ FAX 0144-72-1150
- 代表取締役: 木村 匡紀
- 従業員数: 62名 (2019年12月1日現在)
- 建設業許可: 北海道知事 (般-29) 第2403号
- 宅地建物取引業: 北海道知事 胆振(3) 第936号
- 建築士事務所登録: 北海道知事 (胆) 第906号
- 事業内容: 住宅工事 (新築・リフォーム)・不動産売買・保険の募集